



Press Release

スペシャル・エディション:ランボルギーニ・ガヤルド SE 発表

アウトモビリ ランボルギーニ ジャパン(代表:カルロ・ザンボット、所在:東京都世田谷区尾山台)は、ランボルギーニ社が、昨年発売され成功を収めている同社のスポーツカーであるガヤルドに、限定のスペシャルエディション、ガヤルド SE を設定したことを発表します。

世界限定 250 台となるランボルギーニ・ガヤルド SE(スペシャルエディション)は、2トーンのボディカラー、よりスポーティなインテリア、技術面の向上などを特徴としています。日本向けには、16 台を販売予定しています。

この限定モデルは、妥協することなく極限まで性能を突き詰めたランボルギーニ・ガヤルドがベースとなっています。

ランボルギーニ・ガヤルド SE は、フルタイム 4WD、6 速ギアボックス、アルミ製スペースフレーム、ESP、ASR、ABS、ABD、エアコンディ

ショナーなどが装備され、エアバッグはフロントとサイドに各2つ装備されています。

ボディカラーは、6つの選択肢から選ぶことができます。2種類のグレー(Grigio Altair, Grigio Proteus)、ホワイト(Balloon White)、イエロー(Giallo Midas)、オレンジ(Arancio Borealis)、そしてグリーン(Verde Ithaca)です。ルーフ、エンジンフード、フロントおよびリヤ・スポイラー、両側のサイドミラーはいずれもブラック(Nero Noctis)に塗装され、ボディカラーとコントラストをなしています。テールランプのレンズは薄く着色されたものを採用。新デザインの「Callisto」(カリスト)ホイールは外見を引き締め、ホイールの隙間から覗く、グレーもしくはイエローに塗装されたブレーキキャリパがアクセントとなっています。



インテリアデザインも2トーンのコセプトを踏襲し、パイピングとステッチは車両の外装色を使用しています。運転席と助手席のヘッドレストには、ランボルギーニのエンブレムが型押しされ、ダッシュボードには Lamborghini の文字が誇り高く輝きます。カーペットはブラックで、縁取りには外装色を使用しています。また周知のことですが、内装全体は最高品質のレザーを使用して手作業で仕立ててあり、部分的にパーフォレイト(穴明き)加工が施されています。

スペシャルエディションのインテリアデザインは、そのアグレッシブな新しさを強調したものです。ランボルギーニ・ガヤ



ルド SE 専用として、車両番号を型押ししたランボルギーニ・エンブレムが装着されます。またご購入いただいたお客様のお名前も刻印できます。

限定のスペシャルエディションは、一体式のマルチメディア・スクリーンと組み合わせて使うことで駐車をサポートするリヤビュー・カメラなど、豊富な標準装備が搭載されています。スポーツサスペンション、スポーツステアリング、P Zero Corsa タイヤ(スポーツ・ドライビング用にピレリ社が専用開発)も、スペシャルエディションの標準装備です。膨大な標準装備のリストには、専用の車両カバーも含まれています。

さらに、オプションとして多様な装備を追加することができます。パドルシフトで操作可能なギアボックス e ギア、ヒーター、ドミラー、ヒーターシートなどは、ほんの数例にすぎません。ウインターパッケージ(ヒーターシート、ヒーターミラー、ウォッシャーノズルヒーター、ラバー製フロアマット、12V 電源) やリフティングシステムも提供可能です。スポーツタ

イヤから標準タイヤへの変更も、追加料金なしで可能です。

ガヤルド SE は、数カ所の技術的改良も受けています。ギアボックス関連では、1～5速ギアが以前より低いギア比に設定され、ガヤルドのダイナミックなパフォーマンスを向上させています。その結果、0～100km/h 加速は 0.2 秒短縮されて 4.0 秒になり、最高速度も以前の 309km/h から 315km/h へと向上しました。e ギア及び ESP の機能を最大限に使用した場合、スタンディングスタートから全ギアにわたり、胸のすく加速と理想のシフトタイミングが得られます。

従来の優れたハンドリング特性にもさらに磨きが掛けられ、よりダイレクトで精密なステアリング操作が可能になっています。

ガヤルド SE は、11 月から日本で販売が開始されます。車両本体希望小売価格(暫定)は、2,310 万円(消費税込み)となっています。

詳細はランボルギーニ ジャパン正規ディーラーネットワー

クにお問い合わせ願います。